

—特集「新年の抱負」—

越智機械工業株式会社

代表取締役社長 関野 恭智 氏
(有志竟成の会、第12期副塾長)

【会社概要】

会 社 名：越智機械工業株式会社
設 立：1963年
資 本 金：4,500万円
代表取締役社長：関野 恭智
所 在 地：愛媛県西条市丹原町田野上方1016番地

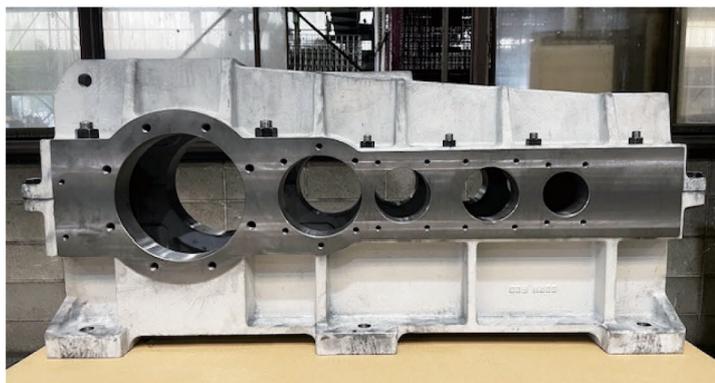


事業紹介

今年で創業62年目の機械加工メーカーです。創業以来、当社が得意とする中・大型ワークの更なる生産性向上を実現する多能工教育に加え、多品種ワークのフレキシブル生産を可能にする「現場力」の向上を目指してきました。また、お客様が求める高精度、高品質な製品を提供するため、生産設備の拡充も積極的に進めてきました。五面加工機、マシニングセンタ(多面パレット)、CNC旋盤等の最新設備を導入して各種減速・高速機部品の他、ギヤケース、ミッションケース、クランクケースなどの動力部品や油圧部品の製作をメインとし、水処理・廃棄物処理施設で使用される各種部品、高炉メーカーで使用される部品など、幅広い分野にわたり多彩な製品を製造し各種特殊検査にも対応した事業展開をしております。「顧客第一主義」をモットーに掲げる当社は、「形状が複雑」「一点だけ必要」といった試作部品、補用部品、特殊部品にも対応し、各種素材、資材の調達も国内外で対応しております。



減速機用ハウジング
(溶接構造、重量約2,000kg)



減速機用ハウジング
(鋳物製、重量約1,000kg)

業界の展望

DX化に向け中小製造業に特化した業務サポートツールが比較的安価にサービス展開されてきました。業務効率化を目的に、デジタルツールを活用し製造工程のデータをリアルタイムで把握することで、生産性の向上が図れるようになりました。設備面でも3Dプリンターの登場により低コストで工程集約ができるようになってきています。加えて、画像処理で測定を行う技術も発展しています。これら全てが省人化に貢献しています。先行きは人手不足や人件費増の影響が成長の足かせになるリスクが高まっていますが、新しいテクノロジーとサービスを積極的に活用し、さらなる成長と進化を続けて参ります。



アウトプットハウジング
(溶接構造、重量約800kg)



特殊ギヤケース
(鋳物製、重量約500kg)

今年の抱負

付加価値の創造こそが企業の存在意義であると考えています。部品製造メーカーとしての価値を生み出し、それを時代の変化とともに再定義し続けることに取り組みます。ものづくりの現場において何が起きているかを正しく把握し、先を見通すことで、お客様も気づいていない課題を解決する新しい価値をもった企業になるべく業務に取り組んで参りたいと思います。



五面門形マシニングセンター
(メーカー名：OKUMA)



横形マシニングセンター
(メーカー名：OKUMA)